

# た か は ぎ

2016.11  
No.141

## 議会だより

### 平成28年第3回定例会

会期 9月2日～9月16日

議案に対する質疑……………	4
委員会審査報告……………	5
市政に対する一般質問……………	7



まちなか大パーティー

## 平成 28 年第 3 回定例会に提出された議案等

事件番号	件名	内容	審議結果
報告第11号	専決処分の報告について(損害賠償の額の決定及び和解について)	損害賠償及び和解のうち、50万円以下の専決事項について報告するもの	—
報告第12号	専決処分の報告について(損害賠償の額の決定及び和解について)	損害賠償及び和解のうち、50万円以下の専決事項について報告するもの	—
報告第13号	平成27年度高萩市一般会計継続費精算報告書について	公営住宅避難設備整備事業ほか4事業について継続費の精算額を報告するもの	—
報告第14号	高萩市健全化判断比率について	実質公債費比率 14.4% 将来負担比率 109.0%	—
報告第15号	高萩市資金不足比率について	水道事業と工業水道事業について資金不足はなかった	—
議案第31号	高萩市教育委員会の委員の任命について	作山吉永氏(本町)が任期満了となるため、増子恵美氏(安良川)の任命について同意を求めるもの	原案同意
議案第32号	高萩市市税条例等の一部を改正する条例の制定について	地方税法等の一部改正に伴い、市民税の延滞金額の計算の見直しや医療費控除の特例の創設等を行うもの	原案可決
議案第33号	高萩市復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について	東日本大震災復興特別区域法の一部改正に伴い、課税免除について、固定資産の取得適用期間を1年延長するもの	原案可決
議案第34号	高萩市医療福祉費支給に関する条例の一部改正について	茨城県が実施している医療福祉対策において妊産婦に係る所得制限が緩和されたこと等に伴い、所得制限基準額を緩和する等のもの	原案可決
議案第35号	高萩市国民健康保険税条例の一部改正について	外国人等の国際運輸業に係る所得に対する相互主義による所得税等の非課税に関する法律の一部改正に伴い、条例を一部改正するもの	原案可決
議案第36号	高規格救急自動車の取得について	高規格救急自動車1台の購入に伴い、議会に議決を求めるもの	原案可決
議案第37号	平成28年度高萩市一般会計補正予算(第2号)	歳入歳出それぞれに1億2,555万3千円を追加するもの。内容は、旧高岡地区における山村活性化対策経費、高萩スカウトフィールドに向かう市道の舗装等。	原案可決
議案第38号	平成28年度高萩市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出それぞれに100万5千円を減額するもの	原案可決
議案第39号	平成28年度高萩市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	保険事業勘定の歳入歳出それぞれに9,041万8千円を追加するもの	原案可決
議案第40号	平成28年度高萩市水道事業会計補正予算(第1号)	収益的支出において、水道事業費用を182万9千円増額するもの	原案可決

事件番号	件名	内容	審議結果
議案第41号	平成28年度高萩市工業用水道事業会計補正予算(第1号)	収益的支出において、工業用水道費用を89万4千円減額するもの	原案可決
議案第42号	平成27年度高萩市一般会計歳入歳出決算認定について	歳入 147億1,879万1,125円 歳出 139億693万7,077円	原案可決
議案第43号	平成27年度高萩市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	歳入 38億8,980万2,352円 歳出 38億8,243万8,590円	原案可決
議案第44号	平成27年度高萩市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	歳入 2億9,975万1,185円 歳出 2億9,922万9,285円	原案可決
議案第45号	平成27年度高萩市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	歳入 26億1,915万7,109円 歳出 25億4,237万8,777円	原案可決
議案第46号	平成27年度高萩市霊園事業特別会計歳入歳出決算認定について	歳入 1,637万1,730円 歳出 1,559万829円	原案可決
議案第47号	平成27年度高萩市水道事業会計決算認定について	収益的収入 7億4,940万9,736円 収益的支出 5億1,769万8,267円 資本的収入 3億3,397万7,920円 資本的支出 5億8,513万2,000円	原案可決
議案第48号	平成27年度高萩市工業用水道事業会計決算認定について	収益的収入 2億1,055万2,722円 収益的支出 1億4,389万408円 資本的収入 3,000万円 資本的支出 1億480万4,991円	原案可決
議案第49号	高萩市水道事業会計利益の処分について	平成27年度の未処分利益剰余金3億4,886万5,246円のうち、1億6,500万円を減債積立金に積立て、残りを自己資本へ組み入れるもの	原案可決
議案第50号	高萩市工業用水道事業会計利益の処分について	平成27年度の未処分利益剰余金1億3,821万3,936円のうち、3,000万円を減債積立金に積立て、2,000万円を建設改良積立金に積立て、残りを自己資本へ組み入れるもの	原案可決
	議員の派遣について	① 先進地での議会広報について実地調査をするもの ② 議会報告会に議員を派遣するもの ③ 茨城県市議会議長会が主催する議員研修会へ参加するもの	原案可決
意見書案第1号	教育予算の拡充を求める意見書の提出について	教育予算の拡充を求める意見書を政府に提出するもの	原案決議

議案質疑

議案第37号 平成28年度高萩市  
一般会計補正予算(第2号)

大足 光司 議員

質問 山村活性化対策経費について、事業内容等を聞きたい。

産業建設部長 事業内容については山村地域の地域資源の再評価と未活用資源を用いた商品を開発し、販売していくことで、田園回帰の促進と地域の活性化を図っていくことを目的としている。財源は国の農山漁村振興交付金を活用する。事業の進め方は、県と包括連携協定を結んでいる東京農業大学の専門的な知見やノウハウを活用し、1年目は地域住民と地域資源の再評価や商品開発等のため、地域資源調査、料理講習会、栽培講習会等を行う予定。2年目には商品化に向けた取り組み、最終年度の3年目には、販売に向けた取り組みを考えている。事業の成果目標は最終年度で4品以上の商品開発、年間200万円以上の売り上げと、1名の雇用の創出を考慮しております。

今川 敏宏 議員

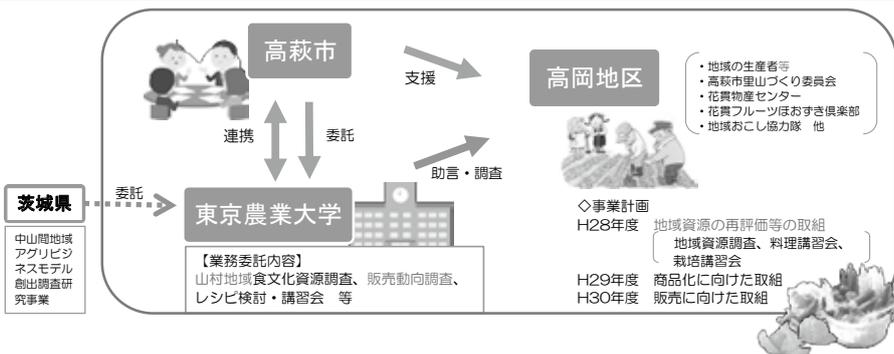
質問 山村活性化対策経費900万円について、報償費、講師等謝礼の説明があったが、その専門家とはどういう人なのか、誰なのか。その講習会、研修会は何回ぐらい開催するのか。どういふ人を対象にするのか。また、里山産品調査員等報償費200万円とあるが、これは地元住民の協力を得る報償費ということだが、何人ぐらい、どのぐらい日数を見てののか。何う。

産業建設部長 専門家とは料理の専門学校等の講師を想定しています。講習会の回数は基本的には2回で、高岡地区5団体を対象に考えています。里山産品調査員等報償費は、里山地区の食材の採取と加工などに、とりあえず5地区2人ずつ、10人で24日分を想定しています。それと、森林整備作業員として30人分を計上しています。



山村活性化対策

山村地域の地域資源の再評価と未活用資源を用いた商品を開発し販売していくことで、田園回帰の促進と地域の活性化を図ります。



花賞物産センター

f 市議会フェイスブックをご覧ください。👍



「いいね」をお願いします。

市議会のホームページリンクまたは、「高萩市議会フェイスブック」で検索してください。

高萩市議会フェイスブック

検索



## 総務産業委員会

9月12日、当委員会に付託された議案6件の審査と所管事務の調査を行った。

### ○平成28年度高萩市一般会計補正予算(第2号)

問 ①市道1312号線外路面表示(ゾーン30)工事請負費677万2千円の内容と場所の選定理由について伺う。②将来、道路の交通量が減った場合、交通規制の緩和、廃止があり得るのか。

答 ①ゾーン30(最高速度30km/h規制)区域内の市道19路線となりますが、道路管理者の役割であり、路側帯とクロスラインの設置を予定しています。車道幅員が5.5メートル以上を4メートルにするための区画線の設置、約7900メートル。区域内の交差点で一定の条件によりクロスラインやT字ライン、27カ所の設置を計画しています。今回の決定は、交通量や交通事故の発生率状況などをもとに警察のほうが行く安全確保のため必要だということで、この場所(東本町1・2・3丁目、肥前町1丁目、有明町1・2丁目)が選定されています。②将来にわたって、交通制限が変わるかどうかは、そのときの事情に合わせて



路面標示イメージ



て警察のほうが決定的なことになるかと考えております。

問 公債費の長期債元金償還金で227万1千円の内容について伺う。

答 平成18年に減税補てん債及び臨時財政対策債を借入れ、今年度利率の見直しが行われ、利息が2.0%から、0.1%になりました。28年度は元金が227万1千円の増額補正ですが、利子は510万1千円の減額になります。総額では、2つ合わせて利子が2830万5440円の減額となります。

## 文教厚生委員会

9月9日、当委員会に付託された議案5件、陳情1件、請願2件の審査と所管事務の調査を行った。

### ○平成28年度高萩市一般会計補正予算(第2号)

問 実践的安全教育総合支援事業について伺う

答 児童生徒の防災意識の向上を図るため、防災に関する指導方法等の開発、普及を行うとともに、地域の関係機関との連携体制を構築し、強化することを目的とした県の委託事業となっております。今年度は高萩小・高萩中学校の2校が県のモデル校として選定されました。

問 私立保育園経費、認定こども園経費の保育対策総合支援事業費補助金について伺う。

答 保育所等の保育業務において負担となっており、書類作成等の業務につきまして、このシステムを導入することにより、負担の軽減をするための費用の一部を補助するものであります。こちらを導入することにより、保育士本来の保育業務に専念できるものと考えております。

問 通学用自動車購入事業の運行



計画について伺う。

答 君田小・中学校のスクールバスの運行に関しては、来年度予算に計上する予定としておりますが、現在においては、上君田から下君田を通るルートと、横川ルートの2系統で考えております。今回購入しますスクールバスにつきましては、保護者からも要望が多い積雪に対応する自動車ということで、君田のルートに使用する予定となっております。運行に関しては、保護者の意向を確認しながら委託と雇用の両面で検討しているところであります。

# 委員会審査報告

## 決算特別委員会

決算に関する議案第42号から議案第50号までを審査するため決算特別委員会が9月8日に設置されました。

決算特別委員会は議長と監査委員を除く14名の委員で構成し、付託された平成27年度の一般会計他、7つの会計について、9月13日、14日の2日間で厳正な審査を行い、全て認定されました。

ここではその一部ではありませんが、審査によって明らかになった平成27年度一般会計決算の歳入のうち、資源物売り払い収入について掲載します。

この売り払い収入については、市民の皆様の適正なごみ分別により、資源物をリサイクルセンターで、さらに選別・圧縮・梱包等の中間処理を行い、再生資源物として売り払ってきた成果です。

この収入額は、廃棄物処理経費や、生ごみ処理容器等設置事業補助金などの、ごみ減量化推進のため活用されています。



高萩市リサイクルセンター

平成27年度再生資源物売り払い状況

品 目	売払い額
紙類	5,295,091 円
金属類	11,173,245 円
布類	3,882,531 円
びん類	47,101 円
ペットボトル・発砲スチロール	2,915,520 円
売払い合計額	23,313,488 円

第3回定例会

## 討 論

議案第42号 平成27年度高萩市一般会計決算認定について  
議案第43号 平成27年度高萩市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

### 反対討論 平 正三 議員

マイナンバー制度は、国民にとってあまり必要性が感じられなく、個人情報漏洩のリスクが高く廃止すべきである。

平成27年度まで行政防災無線戸別受信機の設置状況は、駅東地区の設置対象者である65歳以上世帯1196世帯のうち、605世帯しか設置されず、設置率は、50.6%である。高萩FM放送設備に約600万円の費用をかければ、緊急告知FMラジオの利用が可能であり、緊急告知FMラジオの設置を強く求める。

平成25年度に市が実施した子ども甲狀腺検査で、経過観察と判定された子供たちの甲狀腺検査を継続して行う責任は市が負うべきであり、甲狀腺検査の実施を行うことを強く求める。

国保会計は平成26年度27年度と2か年続けて赤字となり6千万円を一般会計に戻すのではなく、国保税引き下げの財源に活用すべきである。

## 請願・陳情の審議結果

件 名	結 果
「青少年健全育成基本法の制定」を求める意見書提出に関する請願	継 続
教育予算の拡充を求める請願	採 択
高萩市のごみ処理の適正化についての陳情書	継 続

重すぎる国保税の負担軽減を図るため国保税の引き下げを求め、私の反対討論とする。

### ◎ 請願・陳情



根本 茂 議員

高齢者の健康寿命延長について

質問 「2025年問題」及びシニアカードの概要説明、本市の健康寿命延長の取り組みを伺う。

健康福祉部長 団塊の世代が、西暦2025年に75歳以上となり、後期高齢者の急増が見込まれ、医療・介護・福祉サービスや、財源の不足などが危惧されることが「2025年問題」です。

いばらきシニアカードは65歳以上の高齢者に積極的な外出を促し健康増進や引きこもり防止につなげることを目的として配布しており、地域・企業・行政が一体となり支え合う社会の構築を旨とし、現在21店舗の協力を得ています。本市の健康寿命延伸の取り組みは、高萩市健康増進計画により、健康増進や疾病予防・介護予防など高齢者が社会参加できる環境整備を柱に事業展開しています。

主な事業は、各種検診や生活習慣病予防教室の開催、特定健康診査や特定保健指導、シルバリーハピリ体操指導士による元気アップ運動教室、今年度から開始した介護サポーター事業等があります。

また、高齢者の積極的な社会参加のための環境整備として、高齢者大学や高齢者クラブ、シルバリー人材センター支援事業、はぎっずサポーター事業などがあります。

質問 シニアカードでの公共施設使用料の割引をお願いしたい。

企画部長 負担の公平性の確保の原則により、3年毎に利用料金見直しを行っています。

今後、高齢者の外出機会の創出の視点を踏まえて、検討してまいります。



2016年高萩市シニアテニス大会

その他の質問

○シニアカードの主な特典  
○公共施設の高齢者対応の整備  
状況



寺岡七郎 議員

NPO法とFM放送について

質問 市の支払っている放送委託料は、高萩の財政事情からあまりにも高いのではないかと、1時間当たりの平均単価は7万3千円、一番高いのは9万、安いのは6万、民間業者も同じ単価を払っているのか。民間業者の収入は同じ年度で1時間当たり4万4千円、これではあまりにも不公平ではないか。そこで27年度の事業の広告料、放送時間は何時間か。

企画部長 総時間数は、平均単価の算出につながり、契約交渉の材料となることから、非公開としていきます。

質問 行政の単価より民間の単価が安かったら問題である。運営上適切な運営をしていなければ指導、監督の責任は行政にある。民間の取扱いを明らかにできないのでは不公平に扱っているのではないかと。行政のすべき仕事を後回しにして本当に優先すべき事業か。

企画部長 情報発信の必要性や効果等を精査し、高萩FMの料金表に従い予算計上しています。  
質問 FM放送は地域の放送が最

大の目的であり、現在地域放送は何パーセントしているのか。  
企画部長 総務省の審査基準では地域に密着した放送はできる限り50%以上を占めることとなっております。現在の自主制作番組は約55%です。

質問 私の聞いているのは自主事業でなく地域放送です。自主事業イコール地域放送ではない、総務省は地域放送は例えば観光、行政、交通情報これで放送時間の50%を超えていなければならない。





平 正三 議員

**市道1261号線（千代町団地北側）の側溝の整備とふたがけについて**

質問 昨年9月議会で、千代町団地北側の秋山幼稚園入口から国道461号線に通じる道路で、交通安全上側溝の整備とふたがけを求めたが、その後、どのように検討されてきたのか。

産業建設部長 検討の結果、当面、ふたの設置は行わない。しかし、交通量も多いことから、速度規制の導入等関係機関と協議していきたい。

質問 交通安全を図るため、側溝に整備・ふたがけを実施すべきである。

**東海第2原発問題について**

質問 市民の命と安全を守るために、東海第2原発の再稼働に賛成か反対か、市長の見解を伺いたい。  
市長 国のエネルギー政策として国が判断すべきで、現時点で高萩市が単独で判断すべきでないと考えている。

**子どもの甲状腺検査について**

質問 甲状腺検査の結果、経過観察の必要のある子供たちの健康を守るために、市の責任で甲状腺再検査を行うべきである。

市長 国や専門家の意見等による県の現状から、市による再検査を行う必要はないと考えている。

**学校給食の無料化について**

質問 子どもの置かれている厳しい経済環境から学校給食法にとらわれないで、学校給食無料化の政治判断をすべきである

市長 高萩市では、学校給食に要する経費のうち、食材費のみを給食費としていっているので、保護者負担を求めている。経済的に困難な世帯については就学援助制度で対応していきたい。



市道1261号線（千代町団地北側）



八木陽子 議員

**給付型奨学金制度について**

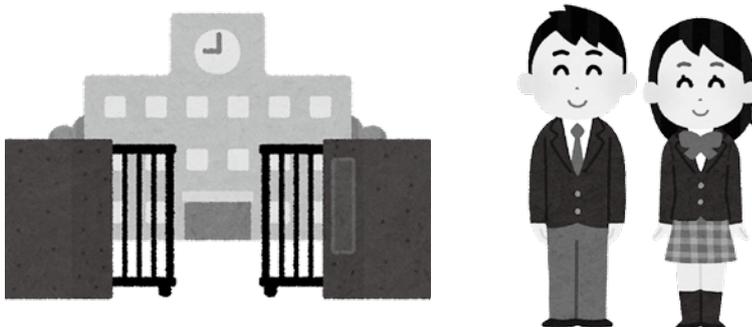
質問 国民生活基礎調査によりまずと、貧困率は16・3%、6人に1人が貧困という数値です。先進国34か国の中でも最悪の状況にあります。諸外国では給付型奨学金制度や補助金で大学は学費が無料になっていますが、日本は平成30年施行に向けて給付型奨学金制度が動き始めたばかりです。市長の考えをお聞かせいただきたい。

市長 奨学金は経済的理由で修学が困難な優れた学生に学資を支援する制度で大学生の約半数が利用していると言われております。多くは貸与型となっており議員指摘のとおり大学卒業後返済に苦しんでいる若者が非常に多いということとは十分認識しております。

本市では、高萩市創生総合戦略に基づき地域に貢献する人材を育成するため大学生のUターン促進を目的とした奨学金返済支援事業の実現に向け奨学金制度、助成額、対象要件等について検討を進めております。

質問 大学卒業後奨学金が返済できず裁判所から督促を受けている人は10年間で40倍に増えているそ

うです。雇用制度の問題もあり、返済できず、中には親子で自己破産に陥り大変厳しい状況です。  
茨城県では、7市1町が給付型奨学金制度を導入しております。是非高萩市でもお考えください。  
市長 給付型奨学金制度については、さまざまな問題があることも現実であります。高校生の給付型奨学金については、他市の状況を見て前向きに今後検討してまいります。





大森要一 議員

**旧日本加工製紙高萩工場跡  
地太陽光発電パネル設置の  
影響について**

質問 旧日本加工製紙跡地の太陽光発電設備設置について、高萩市が発電会社である双日㈱から連絡を受けてから、今後の土地利用計画等について、どのような協議が行われてきたのか、経緯を時系列で説明願う。

企画部長 今回の跡地における太陽光発電事業については、平成27年6月5日に、双日㈱とAP&PPから高萩市へ打診がありました。その後幾度となく協議・調整を重ね、要望事項に対する一部対応策が示されたことから、平成27年12月の議会全員協議会で、土地利用について説明し、ご意見等をいただきました。

質問 太陽光発電設備を設置するうえで、のデメリットとして、電磁波による健康被害、電波障害、想定外の強風での飛散事故、真夏の温度上昇、パネル下の枯れ草による大規模火災等が考えられ、20年後莫大な廃棄物の処理費を業者が負担することになる。何があるかわからない現在に事業を中断し、

残る廃棄物を子や孫に残したくはないと考えます。

**花貫溪谷落石の早期撤去  
について**

質問 花貫溪谷の落石について、現在までの経緯と現状について伺う。高萩の大切な観光資源である花貫溪谷であり、至急の対応が第一である。

産業建設部長 花貫の落石につきましては、法面の岩の部分に生い茂っている雑木の根が成長したことにより、岩を砕いたのが原因と考えられています。5月20日に復旧測量設計業務を発注し、現地調査及び工法を検討しています。



花貫の落石現場



坪和久男 議員

**地方債（高萩市の借入金）  
の現在高等について**

質問 ①平成27年度末地方債の残高について②平成27年度地方債の返済額について③土地開発・住宅公社の償還期限、償還金減額分の投資等の見解をお伺いします。

総務部長 ①平成27年度末の地方債現在高は251億5354万6千円で、一般会計は154億9438万2千円、うち、土地開発公社の残高は4億7660万円、住宅公社の残高は30億2379万1千円です。②平成27年度の地方債償還額は28億5179万2千円で、一般会計は16億7932万3千円、うち土地開発公社は1億9894万6千円、住宅公社は2億7662万3千円です。

市長 ③土地開発公社経営健全化債は、平成30年度償還終了予定、住宅公社改革推進債は、平成42年度償還終了予定となっております。平成30年度には利子を含め約2億円の負担軽減となり、両公社の地方債償還終了後は約5億円の負担軽減につながります。両公社地方債償還終了後は、市民の皆様とのニーズに合った新たな事業や

サービスが展開可能、さらに地域活性化につながる新たな施策に取り組むことができるようになるのではないかと考えております。

**地域コミュニティ活性化事業  
の推進について**

質問 高萩市協働のまちづくり指針に基づき、高萩型地域コミュニティの進捗状況等を伺います。

総務部長 本年5月に地域コミュニティ活動活性化委員会を設置し、今後はモデル地区の選定に向け協議を進め、全体計画のとおりに進めていきたいと考えています。



高萩市社会福祉協議会  
上手綱北組支部敬老会



渡辺悦夫 議員

市内巡回バスの運行のあり方について

質問 今後ますます加速する高齢化に伴う買い物難民対策を初め、交通弱者に対する市内公共交通手段の見直し等が喫緊の課題だと思っております。現状の市内の巡回バスは、利用者減少の一途をたどり、わずかな人と、出発地点及び終着地点の空気を運んでいるような状況です。今年度新規事業として、地域公共交通網形成計画策定負担金1047万6千円の計上の目的、調査内容及びスケジュール等について伺います。

企画部長 バスの運行につきましては、年間約2308万7千円を補助しておりますが、路線によっては乗客の減少が見られ、今後の路線維持が危ぶまれており、将来のまちづくりを見据えた総合的な公共交通ネットワークを構築することを目的に、来年3月までに地域公共交通網形成計画の策定をしております。

質問 現在の公共交通の課題と現状をどのように捉え、どのような対応をしていくのか。また交通弱者に対する巡回バスの導入について

て伺います。

企画部長 路線バスの対応として車両を小型化。巡回バスの導入については路線の見直しや自宅付近から乗降できるようなバス停の増設など、地域性を踏まえた効果的な運行が必要であると考えます。

要望 市内巡回バスの導入など、切に願ひし、市民にとって利用しやすい公共交通のあり方について、より実効性のある地域公共交通網形成計画の早期策定を願ひ、今回の質問を終わります。



発車間近のバス



大足光司 議員

まちづくりの活性化対策について

質問 大型店跡地の地権者との話し合いや進捗状況等を聞く。

市長 ある企業から土地利用についての引き合いがあったと聞いている。進出企業は立地判断する段階に至っており、市としては中心市街地の活性化を図るため、誘致を実現させたいと考えており、誘致の後押しとなるような支援策も検討の必要があると考える。

質問 中心市街地活性化策等について、今後の取り組みを聞く。

企画部長 高萩駅周辺をまちの賑わいゾーンとして店舗や事務所、公共施設を誘致する等、市の最も賑わいのあるゾーンを指す事として、高萩市民センターの一部を改修し、高萩起業塾や創業プランコンテスト等により、新たな人の流れを考えている。また、立地適正化計画の策定に着手し、商業施設等を誘致する「都市機能誘導区域」を設定することから、国から民間事業者に対する支援や税制上の優遇措置等が受けられる事により、中心市街地の遊休不動産の活用も図れると考える。



陸橋からの駅前コーカドー跡地

質問 市の公共交通政策について  
企画部長 公共交通の空白地域や交通不便地域の公共交通手段を確保することは重要な課題である。総合的な公共交通ネットワークを構築し、市民生活に必要な交通手段を持続することを目的に高萩市地域公共交通網形成計画の策定を検討している。地域のニーズに対応し、生活に必要な交通手段を持続していけるよう、市全体の公共交通のあり方や交通手段について検討する。



今川敏宏 議員

高萩創生、健全なまちづくりについて

質問 市民の暮らしの健全な姿は、健康で経済的自立をし、社会性を兼ね備え、自信を持って喜び暮らす姿、幸福な状態、それに向かっていく途上の姿であって、市政はそれを援護するものだと思います。

市の財政の健全は、後世に負担を強いる、徹底的に無駄ゼロを追求し抜くことだと思います。

市の施策事業の健全は、県、国、地球規模を視野に、独善的ではなく、地球温暖化防止や少子高齢化問題など社会的課題に即した施策事業であることが必要で、当初の事業計画の目標に向かい、PDCAの機能が果たされ、職員配置は適正であり、そうして初めて健全性が成立すると思います。以上、市長の所見を伺います。

市長 議員御指摘のとおり、快適な環境の中、市民が健康で生き生きと生活できること、市民ニーズや新たな行政課題に対応できる財政基盤確立のため、歳出抑制と歳入確保に努めるとともに、効率的な行政運営の推進に努め、高萩市

総合計画においては、環境問題や気候変動、景気低迷、少子高齢化といったさまざまな社会課題への対応を念頭に置いた計画としました。職員配置については迅速かつ的確に対応できる行政組織、機構とするため、必要に応じた組織の見直しを図り、適正な定員管理に努めています。今後とも、PDCAサイクルを取り入れ、まちの安全、人の安心、仕事の活力、快適生活都市高萩を目指してまいりますと考えております。



《撮影今川》

開催中の県北芸術祭  
イリヤ&エミリア・カバコフ  
《落ちてきた空》1995/2016

その他の質問  
具体的健全策について

- ①生活保護自立支援プログラム
- ②健康づくり、医療・介護予防
- ③生ゴミを再生可能エネルギーに
- ④草刈り除草、樹木剪定伐採課題
- ⑤学校給食の健全とは



菊地正芳 議員

投票環境の充実について

質問 選挙は有権者がその意思を政治に反映させる事の出来る最も重要な基本的な機会であり、民主主義の根本である。少しでも多くの市民の方に投票に来て頂く事が大切である。それには投票環境の充実、利便性をよくする事が一番の投票率向上に結びついていく。例えば、ワゴン車を利用した期日前投票所の巡回や、大勢の人が利用する場所等で、何らかのついでに投票が出来る共通投票所の設置を検討すべきと思うが見解を伺う。

総務部長兼選挙管理委員会書記長 移動期日前投票所の導入については、投票所の統廃合も含め、調査研究してまいります。共通投票所の設置につきましても調査研究してまいります。

DV・ストーカー行為等及び児童虐待の被害者保護について

質問 私たちの身近なところで起こるDV・ストーカー行為、または児童虐待関係の犯罪などは、後が絶たないばかりか、増加傾向にある。そこで、被害者への情報提

供や加害者に対しての牽制、夜間、休日の対応を目的とした、総合的な相談窓口として早急にホームページの整備をすべきと思うが見解を伺う。

健康福祉部長 相談窓口を明確化すると共に、住民基本台帳事務における支援措置についてのページも設け整備してまいります。



©NEW KOMETTO

エアーストレッチャー購入費助成について

質問 高層階に住む要援護者の対応は、エアーストレッチャーがあれば、狭い階段でもスムーズに搬送ができる。購入費助成制度を実施すべきと思うが見解を伺う。

市民生活部長 他の自治体の配備状況も踏まえ調査いたします。



吉川道隆 議員

君田小学校の今後について

質問 君田小中学校施設利活用検討委員会のメンバー構成、地域住民との意見交換会での意見、現在の課題と市としての方向性は。

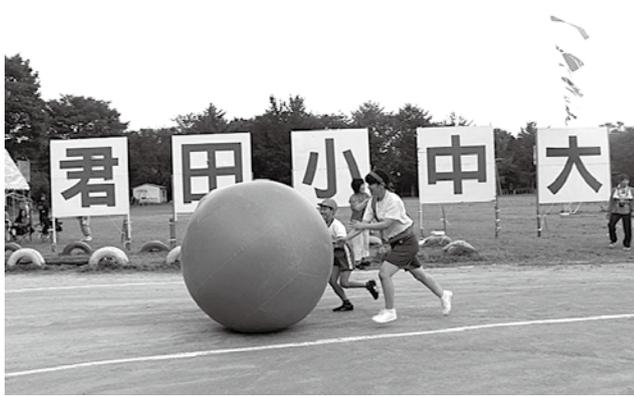
地方創生政策担当部長 検討委員会は委員長のみ、関係各課長8名で構成。地域からは特徴を生かし、健康づくり活動ができる、市民が集える施設にと意見があった。課題は①少子高齢化、人口減少②市街地からの距離③積雪④井戸水利用のため、供給が不安定など。近隣の体験交流施設等を視察しており、今後の方向性を検討する。

質問 検討委員会に地域の方や学識経験者も入れるべき。課題として一番は水。水対策について考えがあるのか。体験型宿泊施設にして地域での運営によりコミュニティ持続が大切。山間地域における、コミュニティを保つ今後の対策は。

市長 施設の利活用だけではなく、現在の様々な事業に積極的に参加していただき、地域コミュニティの活性化を図りたい。地方創生政策担当部長 地域の方とは今後も意見交換会等を開き、

学識者は個別に意見を伺う予定。水は、対策を検討する。

質問 文部科学省の「未来につながるみんなの廃校プロジェクト」として廃校の情報を公表し、民間企業等のニーズを合わせて施設活用を進める公募型もあるがどうか。市長 公募型は、望むような活用方法を提案する民間事業者が早期にあらわれず、未活用状態が続く懸念も。検討委員会で民間事業者による利活用についても検討する。



君田小・中学校運動会

その他の質問

○市内巡回バス導入について

各委員会所管事務調査

総務産業委員会

9月12日(月)、総務産業委員  
会終了後、総務産業委員が所管  
事務調査を行いました。



花貫ほおずき視察



花貫ほおずき

内容は、花貫フルーツほおずき圃場の現地調査です。花貫フルーツほおずき栽培の現状について視察し、地域おこし協力隊の方々の活動状況の報告を受け、意見交換を行いました。

文教厚生委員会

9月9日(金)、文教厚生委員  
会終了後、文教厚生委員が所  
管事務調査を行いました。

内容は市内非常用備蓄倉庫の  
現地調査です。  
高萩小学校、高萩中学校、東  
小学校、松岡中学校を回り、非  
常用備品の現状について確認し  
ました。



非常用備蓄品視察

視察受入

◇香川県綾川町議会

7月14日、香川県綾川町議会の皆様が、行政視察のため来市されました。綾川町は、香川県の中央部に位置し、人口約2万4600人の水と緑の豊かな自然に恵まれた市です。視察項目の高萩市の「独自の子育て支援策」について、子育て支援課、健康づくり課、生涯学習課から説明があり、質疑応答と活発な意見交換が行われました。



◇宮城県岩沼市議会

7月25日、宮城県岩沼市議会の皆様が、行政視察のため来市されました。岩沼市は、宮城県の南部に位置し、人口約4万4千人の田園工業都市、仙台市のベッドタウンです。東日本大震災では甚大な被害を受けられました。視察項目の「議会中継システムおよび議会のフェイスブック」について研修されました。本市の議長、広報委員会の委員も参加して、質疑応答と、活発な意見交換が行われました。



○防災訓練

8月27日（土）、茨城県と高萩市が合同で実施する総合防災訓練が行われ、高萩市議会も参加しました。会場は、高浜スポーツ広場をメインに、約150機関から約5千人が参加しました。



○県道高萩塙線の整備促進のための議員交流研修会

10月4日（火）、福島県塙町議会議員との両議会議員交流研修会及び意見交換会が行われました。本研修会・意見交換会は、県道高萩塙線の整備促進に寄与するとともに、両市町議会議員の相互親睦を図る目的で毎年開催されているものです。

議会日誌

- |        |                                      |
|--------|--------------------------------------|
| 29・30日 | 議会報告会                                |
| 28日    | 茨城県市議会議長会定例会                         |
| 18日    | 議会広報委員会                              |
| 14日    | 議会全員協議会                              |
| 12日    | 県北議長会定例会                             |
| 6日     | 議会広報委員会<br>議会全員協議会                   |
| 4日     | 高萩塙線整備促進のため<br>の高萩市・塙町両議会<br>議員交流研修会 |
| 10月    |                                      |
| 21日    | 高萩・北茨城広域工業<br>用水道企業団定例会              |
| 16日    | 議会広報委員会                              |
| 2      | 第3回定例会                               |
| 9月     |                                      |
| 27日    | 茨城県・高萩市総合防<br>災訓練                    |
| 26日    | 議会全員協議会                              |
| 24日    | 議会運営委員会                              |
| 2日     | 議会全員協議会                              |
| 8月     |                                      |

市民の声

一般質問を傍聴して（高萩高等学校3年）

秋山 飯村 流星さん

高萩市議会定例会の一般質問を傍聴させていただき、ありがとうございました。高萩市の課題や問題点を話し合う姿を肌で感じると同時に、自分の住んでいる「市」の話し合いがどういものなのか知ることができました。

今回、問題点として挙げられていた「奨学金」・「太陽光パネル」について、自分はほぼ知らなかったもので、まだまだ「市」について知らないことが多いと思いました。

高萩市を再度、違う視点から見たいと思う契機となる市議会傍聴でした。

島名 佐藤 亜悠美さん

まず、市議会を傍聴させていただき、ありがとうございました。

今、高萩市にどんな問題があるのか、そして、その問題を今後どうしていくのか、という話し合いを見て、高萩市のことが以前よりもわかった気がします。

また、奨学金のことについての熱い議論を聞き、学生のことをこんなにも思ってくれていることに感動しました。



傍聴においでください

第4回定例会(12月)予定

- 12月2日(金) 本会議 議案上程
- 5日(月) 本会議 一般質問
- 6日(火) 本会議 一般質問
- 8日(木) 本会議 議案質疑
- 9日(金) 文教厚生委員会
- 12日(月) 総務産業委員会
- 14日(水) 本会議 採決

※日程等は変更になることがあります。

インターネット・FMでの放送予定



	インターネット	FM
本会議	○	○
総務産業委員会 文教厚生委員会	○	○

市のホームページの「高萩市議会」からお入りください。

委員会のインターネット放送は、無料で利用できる動画配信サイトのコーストリームを利用しています。使用環境によっては、見られない場合があります。

議会広報委員会

- 委員長 飯田 毅
- 副委員長 我妻 康伸
- 委員 今川 敏宏
- 八木 陽子
- 渡辺 悦夫
- 坪和 久茂
- 根本

今年は、日本のいたる所で毎日の様に大雨・雷・土砂災害・そして台風と自然が猛威を振るいました。ようやく爽やかな秋空の日々が戻ってまいりました。月日は早いもので昨年十月に市民の皆様へ負託をいただき早一年が過ぎました。住みよいまち・そして住んでよかつたまちづくりのため、議員一同頑張ってまいります。今後とも議会活動の様子を「議会だより」等でお伝えしてまいりますので、よろしくお願致します。

(渡辺 悦夫記)